



【た】たくましく健やかな生徒 【い】いのちを尊ぶ温かな生徒 【しん】真実と夢を追求する生徒

※大信中学校ホームページもあわせてご覧ください。

第2学期始業式

夏休み、大きな事故等もなく、無事に第2学期がスタートできましたこと嬉しく思います。保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。さて、本日の始業式では、生徒に「主体性」という話をしました。何かを成し遂げるとき、「自らの意志・判断によって、自ら責任をもって行動すること」が重要です。また、本番で力を発揮するためにも、常日頃より、自分で考え、判断し、行動することで、そのことを自信として、本番においても、自らの意志と判断で行動することになります。もちろん、私たちは、自分一人の力で生きていくわけではありませんが、部活動の大会や高校入試などさまざまな場面で、本番になれば一人ということが多いものです。そのため、常に自分はどうか考えるのか、自分はどうか関わり責任をもつのかという、他人事ではなく当事者としての意識が必要です。2学期は長い学期でもあり、その分、さまざまなことにじっくりと向き合うことができると思います。生徒が学習や諸活動、毎日の生活に当たっては、自らの意志・判断によって、自ら責任をもって行動すること、つまり「主体性」をもって取り組み、併せて、自分の思いを自分の言葉で伝えることができるよう支援していきたいと考えています。2学期もどうぞよろしくお願い致します。



第1回 仁のつどい

「いじめ」について考える中学生フォーラム

8月2日（月）第1回仁のつどいが白河市立図書館で行われ、第2部「いじめ」について考える中学生フォーラムに本校から2名の生徒が代表で参加しました。市内各中学校の代表生徒が各学校のいじめ防止のための取り組みを発表し合い、その後、いじめ問題について話し合いました。他校の実践事例を知るとともに様々な考えを聞くことで、2学期からのいじめ防止のための取組を考え、いじめをなくそうとする意識を一層高めることができました。本校で行っているいじめ防止の活動について3点、生徒会副会長の大橋瑛麻さんが紹介しました。

大信中には“大信あったか家族の5ヶ条”という5つの決まりがあります。この決まりは先輩方から代々受け継がれているものです。私たちは学校を1つの大きな家族として、お互いの良さを認め合い、高め合い、支え合えるような関係性を作っていけるよう、この決まりを守り続けています。



次にこちらの画像をご覧ください。これは毎年文化祭で披露している劇の一部です。この真ん中に写っているマントと仮面をつけた5人組は「大信レンジャー」という正義の味方です。この5人は先ほどの“大信あったか家族の5ヶ条”が武器です。生徒ひとりひとりが意識して生活していけるよう、各クラスや廊下に掲示したり、朝会で復唱したり、このように劇で披露したりしています。

最後に、大信中には“心あったかスマイルボックス”という目安箱があります。これは生徒の「相談事」「意見」「困っていること」などを書いてもらい、生徒会を通して学校全体で解決するためのものです。学校をより良くしていこうという思いをもって使用していますが、使用する回数はあまり多くはありません。今後は、生徒会からテーマを決め、それについて意見や感想をもらうなど、使用の仕方や工夫を考えていきたいと思っています。

大信中ではこのような活動に取り組んでいます。私は、他人の個性を馬鹿にしたり、否定したりすることがいじめだと思います。人それぞれに良さがあり個性があるからこそ、楽しい学校生活が送れているのだと思います。ひとりひとりの個性を分かり合いいじめが撲滅できる社会に、私はしたいです。

〈第2回親子奉仕作業の際の駐車場に関するお願い〉

8月28日（土）の第2回PTA親子奉仕作業の際、自家用車駐車場を保育園駐車場及び校庭とご案内いただきましたが、幼稚園の奉仕作業と同日となりましたので、校庭に駐車いただくようご協力をお願い致します。